

北原洋明の自己紹介

- ◆ 1978～1988年: 日電アネルバ(現キヤノンアネルバ)にて、主に半導体用スパッタ装置のプロセス開発に従事。顧客へのセールス活動、装置納入後のプロセス立ち上げ・プロセスサポートまでカバーする。
- ◆ 1988～2000年: 日本アイ・ビー・エムにて、TFT液晶パネルのプロセス開発および生産技術を担当。この間、第1世代から第3世代の液晶製造ラインの導入・立ち上げおよび次世代ラインの検討に携わる。
- ◆ 2001～2002年: 同社にて、高精細液晶ディスプレイのマーケティングに従事。
- ◆ 2003～2006年: 同社にて、液晶関連のソリューションビジネス、コンサルタント業務に携わる。
- ◆ 2006年12月より、テック・アンド・ビズ(株)を立ち上げ、FPD、グリーンデバイス、その他の産業に関わる情報サービス活動を行っている。
- ◆ 1997年～現在: 業界活動に積極的に参画。業界団体であるSEMI PCS-FPD活動では、副委員長として液晶生産ラインのあり方、生産性向上、業界の指針となるロードマップ作成、などについての検討作業に中心的な役割を果たす。その他、JEITA委員、業界セミナーのプログラム委員などに携わる。これらの経験を基に、産業界の動向や技術トレンド等をまとめ、執筆・講演活動も行っている。
- ◆ 主な著書: 『新液晶産業論—大型化から多様化への転換』(工業調査会), 『図解わかりやすい液晶ディスプレイ—技術とビジネスのトレンド』(日刊工業新聞社), 等々



SEMIロードマップの解説本の中国語訳も発刊



SEMIロードマップオリジナル版プロセス分科会を担当



2006年3月発刊



2004年発刊
韓国語訳も発刊



液晶の技術・産業に関する連載記事



CD-ROMによる判りやすい「液晶工程」解説
2005年版/2007年版



FPD本の共著(数冊)



液晶工程図
中国語版(簡体語、繁体語)も発行